

石炭火力の出力抑制に伴う発電効率低下イメージ

- ◆ 発電事業者として定格負荷(100%)を基本に計画を立てるものの、再エネ導入拡大に伴う送配電事業者の調整運転等により、出力抑制されることで、発電効率が低下する。
- ◆ 一般的に石炭火力発電所は定格負荷で最大効率が得られるように設計されており、仮に出力が30%となった場合には、約7%(絶対値)発電効率が低下する。

